

田中のりこの議会速報



◆発行／きさらづ市民ネットワーク ◆木更津市真舟 4-19-24 TEL&FAX 36-0677

◆発行日／2013年9月28日 ◆田中のりこ HP / [田中のりこと市民ネット](#)

検索 

9月議会質問報告： どうなる？ 介護認定「要支援1と2」

① 介護保険は、今まで本人や家族が抱えてきた介護の不安や負担を、社会全体で支えあうためにできた制度。

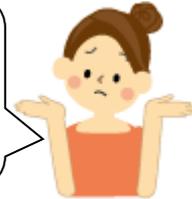
② でも国は、介護の必要度が低い「要支援」向けのサービスを介護保険から切り離し、市町村の独自事業に移す方向。

⑤ 長く住み慣れた地域で暮らしたいけど、「要支援」の約半数は、一人暮らしや高齢者夫婦2人世帯。

⑥ 木更津市の介護保険の状況は？ 今後は？

③ つまり、市町村次第ってこと。

④ 「要支援1や2」の多くは、買い物や簡単な調理、金銭管理などがしづらくなるの。



● 木更津市の介護保険の認定状況を調べた(グラフ参照)。計画で推計した人数より実際には「要支援」が多く「要介護」は少なかったが、市の見解は？

市 介護予防事業による予防効果や高齢者自らが健康に過ごす努力も一因と推測する。

● 現在、「要支援」も利用できる主な居宅サービス事業は？

市 特に利用が多いのは、

① 訪問介護…ホームヘルパーに自宅に訪問してもらい、調理や掃除などと一緒にいき、要支援の方ができることがふえるように支援してもらう

② 通所介護…デイサービスセンターで、食事、入浴などのサービスや、生活機能の維持向上のための体操や筋力トレーニングなどが日帰りを受けられる

③ 福祉用具の貸与

● 地域支援事業の今後のあり方については？

市 介護予防事業については強化し

ていこうと考えている。

● 今後の地域支援事業には現在「要支援1や2」が利用している介護予防サービスも含むか？

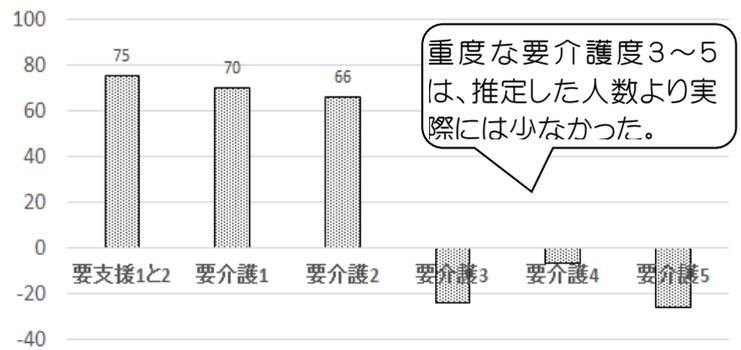
市 現状は含ま

ない。しかし、国の議論では、地域支援事業について特段の方向性は示されていない。市では、介護予防事業は重要な施策と考え、地域支援事業の中で実施する事業として維持したい。

● 特定疾病で40～64歳の「要支援1や2」は、介護保険から切り離されるのか。それとも障害者総合支援法の介護サービスになるのか？

市 国の動向を踏まえて検討。「要支援」の方を含め、現在、受けているサービスの内容が低下しないよう対応したい。

H24年度の介護度別人数 推定と実績比較 単位:千円



● 次の計画のためのニーズ調査はいつするのか？

市 今年度実施する。

● 市民の不安を軽減し、実態を把握できるようにしてほしい。

市 市独自のアンケート項目も入れて把握に努める。

今後、国の動向が気になるが、少なくとも今回は、「現在のサービス内容を低下させたくない」という木更津市の意向を確認できた。ニーズ調査が届いたら、ぜひ記入して提出してくださいね。それを基に今後の介護保険の内容が計画されます。

木更津市の 8 つのお財布は？「9 月議会 H24 年度決算審査」を終えて

木更津市にはお財布が8つ。
大元のお財布が「一般会計」、その他に「特別会計」や「公営企業会計」など7つあります。
今後、計画している大きな買い物である新庁

舎建設。現状の試算では 80 億 9 千万円。気になるのは木更津市のお財布の中身です。貯金はできた？ それぞれのお財布のやりくりは？ 借金返済の今後の見通しは？

一般会計	特別会計 金額は、歳出額			公営企業会計
 <p>歳出 約 384 億円</p> <p>特別会計が赤字の時は、ここから繰出し、特別会計に繰り入れる</p>	 <p>国民健康保険 約 150 億円</p>	 <p>介護保険 約 71 億円</p>	 <p>公設地方卸売市場 約 8600 万円</p>	 <p>水道事業 約 35 億円</p>
	 <p>後期高齢者医療 約 10 億円</p>	 <p>駐車場事業 約 3 千万円</p>	 <p>公共下水道事業 約 39 億円</p>	

●平成 24 年度一般会計は (円)

歳入総額(収入) ①	413 億 7601 万 5 千
歳出総額(支出) ②	384 億 258 万 5 千
歳入歳出差引額 ①-②	29 億 7343 万
翌年度に繰り越すべき財源③	13 億 6398 万 2 千
実質収支額(剰余)①-②-③	16 億 944 万 8 千

貯金 貯金(基金繰入額)は 13 億 944 万 8 千円、残り H25 年度に 3 億円繰り越しました。
H24 年度決算を終えた貯金残高(財政調整基金現在高)は 34 億 4315 万 7 千円となりました。

歳入(上表①)が多かった要因は、市税収入は前年より減。市債(借金)、H23 年度の繰越金、そして使い道が決まっている国や県からの支出金が入ったから。

歳出の主なものは、請西保育園整備事業、社会保障関係の扶助費、市道 127 号線道路改良事業費(文京・貝淵工区)、吾妻排水路整備事業、南清小学校舎増築事業、学校の耐震補強事業



その他、一般会計から約 35 億円繰り出して特別会計に繰り入れました。それは、①国が一般会計から繰り出すべきと定めているもの(基準内繰出金約 30 億円)と②赤字補てんのため(基準外繰出金約 5 億円)があります。その中で

も下記 3 つの特別会計には、「②赤字補てんのために」一般会計から繰り出し、特別会計に繰り入れました。

赤字補てん

- 国民健康保険特別会計へ 3 億 7464 万円
⇒ (この特別会計の歳出総額の 2.5%にあたる)
H25 年 3/31 現在、国民健康保険加入者のうち前期高齢者は 34.8%を占める。収入となる国民健康保険税の収入未済額の過去最多が原因。
 - 公設地方卸売市場特別会計へ 993 万 7 千円
⇒この特別会計の歳出総額の 11.5 %にあたる)
 - 公共下水道事業特別会計 1 億 1176 万 2 千円
⇒ (この特別会計の歳出総額の 2.8%にあたる)
- 駐車場事業会計は、支出より収入が上回りました。借金返済(市債の償還)が H23 年度で終わったためです。

借金返済

H24 年度末に残っている一般会計の借金(市債残高)は 283 億 3196 万 8 千円。このうち 52.9%が臨時財政対策債 149 億 8851 万 6 千円。これは国が「地方交付税を満額出さないで、足りない分は借金してもよい。返済金は後年度に地方交付税であげよう」という不確実なもの。借りるかどうかは自治体の判断。歳出はまず人件費・社会保障関係の扶助費・公債費(借金返済)、残りが建設事業などに使えます。施設建設・維持補修も、借金も計画的でありたい。だから借金の状況は住民が監視する必要があります。



【あとがき】「君津市内の産業廃棄物最終処分場の第 3 期増設の反対意見書を千葉県知事に提出してほしい」この陳情は 6 月議会からの継続審議。経済環境常任委員会では 8 月に現地視察、9 月議会では可決。それとは別途、下水処理場に仮置きしていた公園や側溝の土の(新井総合棟)へ搬入するからと予算が計上され、陳

情に賛成した時期になぜと懸念。同委員会は補正予算を否決。後日再度委員会があり「別の搬入先を検討中」と執行部の説明。9 月議会最終日には、H25 年度補正予算も可決。福島原発から 250Km 離れていて、事故から 2 年半が過ぎた木更津市での話。閉じ込められなかった放射能は後世まで影響。安心な水を飲み続けたい。